

## ■ 掲示板

### ■ 名古屋大学大学院工学研究科教授公募

求人人員：教授1名

所属：マテリアル理工学専攻応用物理学分野構造物性物理学講座  
専門分野・仕事の内容：固体物性の分野における主に構造に関する実験研究（新しい研究領域を拓く意欲のある方）。上記の大学院専攻に属し、大学院および学部（物理工学科応用物理学コース）の教育研究を担当

応募資格：博士号取得者

着任時期：2008年4月1日

任期：なし

提出書類：

- (1) 履歴書
- (2) 研究業績リスト
- (3) 研究業績の概要（2000字以内）
- (4) 研究計画（2000字以内）
- (5) 教育に関する実績と抱負（2000字以内）
- (6) 外部資金獲得状況およびその他の特記事項
- (7) 主要論文別刷10編以内
- (8) 他薦の場合は推薦書，自薦の場合は照会可能者2名の氏名・所属・連絡先

応募締切：2007年7月31日（火）必着

書類送付先：

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科

マテリアル理工学専攻応用物理学分野 黒田新一

\*封筒に「構造物性物理学講座応募書類在中」と朱書きし，簡易書留で郵送のこと。

問合せ先：

マテリアル理工学専攻応用物理学分野主任 黒田新一

Tel：052-789-5173 Fax：052-789-3712

E-mail：kuroda@nuap.nagoya-u.ac.jp

URL：http://www.nuap.nagoya-u.ac.jp/

その他：

提出書類に含まれる個人情報，選考及び採用以外の目的には使用しません。また，応募書類は返却いたしません。業績（研究業績，教育業績，社会的貢献，人物を含む）の評価において同等と認められた場合には，女性を積極的に採用します。

### ■ 第9回（2007年度）サー・マーティン・ウッド賞

#### 受賞候補者推薦要項

趣旨：凝縮系科学に係わる若手研究者に対して研究のインセンティブ，モチベーションを与えます。

対象分野：広い意味の凝縮系科学（例：凝縮系物理学，無機・有機固体化学，材料科学，表面・界面科学）

候補者：日本における研究機関で，凝縮系科学における優れた業績をあげた40歳以下（2007年4月1日現在）の若手研究者。国籍は問わない。

賞の内容：受賞は毎年1件ないし2件とし，受賞者には賞状，賞金50万円と英国のいくつかの大学への講演旅行の機会が与えられます。

推薦依頼先：関係専門分野の有識者，関連諸学会

推薦件数：各推薦者（研究室），推薦団体からそれぞれ一件とします。

推薦方法：所定の推薦用紙に必要事項をご記入の上，締切期日までに到着するよう下記事務局にお送り下さい。自薦も受け付けません。自薦，他薦共に，候補者の業績内容を最も良く理解していると考えられ，当方より問い合わせ照会のできる2名の方（推薦者以外の方）の氏名，所属，肩書き，連絡先を記入して下さい。

締切期日：2007年8月1日（水）

選考：サー・マーティン・ウッド賞選考委員会にて審査，選考します。

決定：2007年9月の予定です。

賞の贈呈：2007年11月に英国大使館で行う予定です。

推薦書提出先及び連絡先：

〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-6

オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社社内

ミレニアム・サイエンス・フォーラム事務局

TEL：03-5245-3261 FAX：03-5245-4466

E-mail：msf@oxinst.co.jp

URL：http://www.msforum.jp/

### ■ 東京大学物性研究所教員公募について

下記により助教の公募をいたします。適任者の推薦，希望者の応募をお願いいたします。

#### 1. 研究部門名等および公募人員数

ナノスケール物性研究部門（吉信研究室）助教1名

#### 2. 研究内容

表面におけるナノメートルスケールの原子・分子のダイナミクスおよび電子物性を，局所プローブ法・表面分光などの実験的手法により研究する。本公募では，測定法の開発や人工ナノ構造の作製などを含め，表面科学に新たな領域を開拓し，大学院学生の指導も積極的に行う意欲のある若手研究者を希望する。

#### 3. 応募資格

修士課程修了，またはこれと同等以上の能力を持つ方。

#### 4. 任期

任期は5年とする。ただし，再任は可とし1回を限度とする。

#### 5. 公募締切

平成19年9月28日（金）必着

#### 6. 着任時期

決定後なるべく早い時期

#### 7. 提出書類

(イ) 推薦の場合

- 推薦書
  - 履歴書 (略歴で可)
  - 業績論文リスト (特に重要な論文に○印をつけること)
  - 主要論文の別刷 (3編程度)
  - 研究業績のまとめ (2000字程度)
  - 今後の研究の抱負 (2000字程度)
- (b) 応募の場合
- 履歴書 (略歴で可)
  - 業績論文リスト (特に重要な論文に○印をつけること)
  - 主要論文の別刷 (3編程度)
  - 所属の長または指導教員等による応募者本人についての意見書 (作成者から書類提出先へ直送)
  - 研究業績のまとめ (2000字程度)
  - 今後の研究の抱負 (2000字程度)

8. 書類提出先  
〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号  
東京大学柏地区人事・労務グループ人事チーム  
TEL: 04-7136-3205 E-mail: jinji@kj.u-tokyo.ac.jp
9. 本件に関する問い合わせ先  
東京大学物性研究所ナノスケール物性研究部門教授 吉信 淳  
TEL: 04-7136-3320 E-mail: yoshinobu@issp.u-tokyo.ac.jp
10. 注意事項  
「ナノスケール物性研究部門(吉信研究室)助教応募書類在中」, または「意見書在中」の旨を朱書きし, 郵送の場合は書留とすること。
11. 選考方法  
東京大学物性研究所教授会にて審査決定いたします。ただし, 適任者のない場合は, 決定を保留いたします。

## ■会告

### ■日本放射光学会第74回評議員会議事録

日時: 2007年4月7日(土) 14:00~16:00

場所: 理研東京連絡事務所 会議室

出席者: 雨宮慶幸 (会長), 大柳宏之, 尾嶋正治, 籠島 靖, 加藤政博, 鎌田雅夫, 木村真一, 澤 博 (会計幹事), 繁政英治 (渉外幹事), 下村 理, 高田昌樹, 田中 均, 並河一道 (議長), 藤森 淳, 間瀬一彦, 柳下 明, 若槻壮市 各評議員  
櫻井吉晴 (編集幹事), 百生 敦 (庶務幹事), 山本雅貴 (行事幹事)

欠席者: 朝倉清高, 安藤正海, 飯田厚夫, 太田俊明, 大橋治彦, 小杉信博, 佐々木聡, 辛 埴, 寿栄松宏仁, 関 一彦, 大門 寛, 竹田美和, 水木純一郎

事務局: 佐藤亜己奈 (WORDS), 西野三和子 (WORDS)

〈報告事項〉

1. 第20回年会・合同シンポ (JSR07) 報告  
山本行事幹事より第20回年会・合同シンポの参加者数, 収支などについて報告があった。各企画講演の聴講人数を記録し, 今後の参考にすべきではないかとの意見があり, 次回年会・合同シンポでは, 企画講演の聴講人数を把握し, また, 企画講演提案者に事後総括を依頼することとした。  
また, 第21回年会・合同シンポが, 2008年1月12日-14日, 立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催されることが報告された。実行委員長は太田俊明 (立命館大学), プログラム委員長は難波秀利 (立命館大学) の予定である。
2. 会費値上げの会誌誌上説明  
総会にて要望があったとおり, 学会誌 Vol. 20, No. 2 (p. 144) に会費値上げに関する誌上説明を掲載した旨, 澤会計幹事より報告された。
3. Asian-Oceania Forum for Synchrotron Radiation Research (AOFSSRR) 会計報告

澤会計幹事より第1回 AOFSSRR の収支について報告があった。

4. 1st Summer School of AOFSSRR について  
高田評議員より, 2007年9月10日~20日に SPring-8 で開催される予定の 1st Summer School of the Asian-Oceania Forum for Synchrotron Radiation Research について説明があった。
5. 会誌編集状況  
櫻井編集幹事より第79回編集委員会および会誌編集の進捗状況について報告があった。
6. 他団体からの推薦・調査依頼について  
繁政渉外幹事より, 科学研究費補助金「量子ビーム科学」分科細目設置に向けた審査委員推薦依頼, また, 日本国際賞授賞式出席者の推薦依頼に対応したことが報告された。
7. 学会ホームページの更新について  
繁政渉外幹事より, 学会ホームページの情報更新頻度を向上したと, 先端的リング型光源計画特別委員会のページを更新し, その報告書, 活動記録, パブリックコメントを掲載したことが報告された。また, 情報発信の重要性と AOFSSRR との関連からホームページの英文化を検討中であることが報告された。
8. JSR07報告の SRN 寄稿について  
繁政渉外幹事より JSR07の報告を SRN (Synchrotron Radiation News) に寄稿し, Issue 20.3に掲載予定であることが報告された。

〈審議事項〉

1. 新入会員の承認  
百生庶務幹事より, 第73回評議員会以降の入退会者に関する報告があり, 審議の結果承認した。入会: 正会員5名, 退会: 正会員35名 (うち学生会員19名)。総会員数は1305名 (内 学生会員204名), 賛助会員49社53口となった。

2. 定款等の英語版について  
 百生庶務幹事より、英文の定款・細則、委員会規則等について、第19、20回の年会で認められた改定に伴う修正が未完である旨説明があった。学会ホームページの英文化とリンクするので、ネイティブの添削による抜本的な修正を、学会活動に関して必要な英文をまとめて一括検討する方針に立ち、新年度開始（10月1日）には完了させたい旨説明された。費用の見積もりが必要との指摘、および、英文化の目的の明確化を求める意見があり、次回の評議員会までに対応することとなった。
3. 第12回学会奨励賞公募について  
 百生庶務幹事より第12回学会奨励賞の応募要綱について説明があった。文章の不備に関する指摘があり、修正は幹事会に一任した。修正版は学会誌（Vol. 20, No. 3）およびホームページに掲載する。
4. 第4回若手ワークショップについて  
 山本行事幹事より、「生命科学」をテーマとする第4回若手ワークショップを、2007年8月初旬にSPRING-8において開催する案が説明された。ワークショップが年会・研究会とは異なる位置づけである旨の指摘があり、テーマについてのみ承認し、内容についてはより十分な検討を行うこととなった。
5. 20周年記念事業について  
 山本行事幹事より、2007年秋-2008年春頃に20周年記念シンポジウムを開催する案が説明された。また、櫻井編集幹事より学会誌 Vol. 21, No. 1 を20周年記念特集号とする案が説明された。内容についてさらなる議論が必要として継続審議とした。  
 第21回年会・合同シンポにおける20周年記念の行事が必要であるとの意見があり、これについても実施する方向で検討をすることとなった。
6. 協賛等について  
 繁政渉外幹事より本学会に対する協賛依頼の報告があり、協賛9件を承認した。なお、他学会との連携を促進する意味から、各案件について橋渡しを依頼する正会員を把握する努

力をしている旨、報告された。

7. 特別企画の単行本化について  
 櫻井編集幹事よりビームライン光学技術シリーズ単行本の企画書（本の構成、出版時期、価格など）について説明があった。新評議員において、前評議員で承認された単行本化の方針が確認された。詳細については、審議未了のため継続審議とし、次回評議員会で再検討することとした。
8. その他  
 VUV・SXについて学会の中でディスカッションをする場を設けてほしいとの提案があり、次回の評議員会で該当コミュニティからのより具体的な提案を受けて検討をすることとした。
9. 次回評議員会日程の確認  
 第75回評議員会  
 2007年7月14日（土） 14：00-16：00  
 場所：理研東京連絡事務所 会議室

## ■会員異動

第74回評議員会（2007年4月7日）で承認

### 《正会員入会》

宮下 卓也 勸ひょうご科学技術協会  
 豊川 秀訓 高輝度光科学研究センター  
 松垣 直宏 高エネルギー加速器研究機構  
 山口 太樹 日本原子力研究開発機構  
 長坂 将成 自然科学研究機構分子科学研究所  
 光分子科学研究領域光分子科学第三研究部門

以上5名

### 《退会会員》

正会員16名、学生会員19名

### 《会員数》

会員1305名（内学生204名） 賛助会員49社（53口）

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2007年 7/9-11	日本結晶学会講習会 「粉末 X 線解析の実際」	東京理科大学 1 号館 17階記念講堂	日本結晶学会 E-mail: inakai@rs.kagu.tus.ac.jp	20・3
7/22-24	埋もれた界面の X 線・中性子解析に関するワークショップ2007	東北大学金属材料研究所	主催：(財)応用物理学会「埋もれた」界面の X 線・中性子解析グループ E-mail: sakurai@yuhgiri.nims.go.jp	20・2
7/25-27	第10回 XAFS 討論会	研究成果活用プラザ北海道	日本 XAFS 研究会 E-mail: xafs10@cat.hokudai.ac.jp	20・2
7/27	日本真空協会関西支部 & 日本表面科学会 関西支部合同セミナー2007 21世紀のゴールドラッシュー金のナノ科学 ・技術の最前線ー	神戸大学百年記念館	日本真空協会関西支部, 日本表面科学会関西支部 E-mail: m-snki@me.kyoto-u.ac.jp	20・3
8/22-25	第47回真空夏季大学	伊豆網代温泉 松風苑	日本真空協会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org	20・2
9/10-11	分子科学研究所 研究会 “顕微ナノ材料科学の最前線”	分子科学研究所 岡崎コンファレンスセンター	ナノ材料研究会 E-mail: askr@cat.hokudai.ac.jp	20・3
9/10-13	第 2 回回折構造生物国際シンポジウム2007	タワーホール船堀	日本学術振興会産学協力研究委員会 回折構造生物第169委員会 E-mail: isdsb07@nubio.nagoya-u.ac.jp	19・5
9/17-19	第43回 X 線分析討論会	京都大学百周年時計台 記念館 2F (17日), 京都大学工学部物理工 学棟 3F (18日・19日)	日本分析化学会 X 線分析研究懇談会 E-mail: jun.kawai@materials.mbox. media.kyoto-u.ac.jp	20・3
9/25-29	加速器をベースとした赤外顕微鏡と分光の 国際ワークショップ (WIRMS2007)	兵庫県立淡路夢舞台国 際会議場	WIRMS2007事務局 (神戸大学内) E-mail: okamura@kobe-u.ac.jp	19・3
10/29- 11/2	第16回二次イオン質量分析国際会議	石川県金沢市県立石川 音楽堂	SIMS XVI 国際会議組織委員会	19・6
10/29- 11/2	第 6 回新材料・素子の原子レベルキャラク タリゼーションに関する国際シンポジウム	石川県金沢市県立石川 音楽堂	日本学術振興会マイクロビームアナリ シス第141委員会	19・6
11/5-8	第20回マイクロプロセス・ナノテクノロ ジー国際会議	京都国際会議場	社団法人 応用物理学会 E-mail : secretariat@imnc.jp	20・2
11/14-16	第48回真空に関する連合講演会	学習院百周年記念会館	日本真空協会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org	20・2

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

## ■日本結晶学会講習会「粉末 X 線解析の実際」

主催：日本結晶学会  
共催：日本分析化学会 X 線分析研究懇談会，  
東京理科大学グリーン光科学技術研究センター  
協賛：日本放射光学会，他  
日時：2007年7月9日(月)～11日(水)  
会場：東京理科大学1号館17階記念講堂  
東京都新宿区神楽坂1-3

### 説明：

A コースは粉末 X 線回折法を主として物質の同定，評価に使う人のための初心者向きコースです。これから粉末法を使う人，解析技術のワンランクアップをめざす人にも最適です。また，薄膜材料の粉末回折についてもわかりやすく紹介します。

B コースは粉末 X 線回折法を結晶構造解析のために初めて使う人，リートベルト解析のワンランクアップをめざす人のためのコースです。粉末法の理解を深めたい人にもお勧めします。

C コースはリートベルト解析の経験者でさらにレベルアップを望む方，未知構造を解析したい方むけのコースです。A, B, C コースは相互に関係が深く，続けて受講することで粉末 X 線解析の全体像を理解できますのでお勧めしますが，単独コースの受講も可能です。

参加費（各々1コース，2コース，3コースを受講した時の費用）：主催および日本化学会会員9000，15000，18000円  
協賛学会等会員11000，17000，20000円，学生7000，10000，13000円，一般13000，22000，30000円  
いずれもテキスト「粉末 X 線解析の実際」（朝倉書店）付き，不要の場合2000円引き，サブテキスト配布有。

定員：160名（先着順）

### 申込先：

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6 大塚三丁目ビル 7F  
日本結晶学会事務局  
TEL：03-5940-7640 FAX：03-5940-7980  
E-mail：x-ray07@realize-at.jp  
結晶学会：http://www.crsj.jp

### 問合せ先：

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3  
東京理科大学理学部応用化学科 中井 泉  
TEL：03-3260-3662，FAX：3235-2214  
E-mail：inakai@rs.kagu.tus.ac.jp

## ■日本真空協会関西支部 & 日本表面科学会関西支部合同セミナー2007

21世紀のゴールドラッシュ—金のナノ科学・技術の最前線—

主催：日本真空協会関西支部，日本表面科学会関西支部  
日時：2007年7月27日(金) 13：00-17：10  
会場：神戸大学百年記念館  
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1  
参加費：無料

定員：200名

### 参加申し込み方法：

http://www.sssj.org/Kansai/goudou070727.html での  
ONLINE 申し込み

参加申し込み締切り：2007年7月23日(月)

問合せ先：鈴木基史（京大院・工）

TEL & FAX：075-753-5196

E-mail：m-snki@me.kyoto-u.ac.jp

## ■分子科学研究所 研究会 “顕微ナノ材料科学の最前線”

主催：ナノ材料研究会

日時：2007年9月10日(月)～11日(火)

会場：分子科学研究所 岡崎コンファレンスセンター

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地

発表形式：口頭発表 原則20分（場合により40分）

ポスター発表

発表申し込み締め切り：7月20日（旅費支給の関係上厳守）

Abstract 締め切り：8月10日

参加申し込み締め切り：9月1日 旅費支給希望者 7月20日

会費：無料（懇親会，2日目昼食代は，5000円）

### 問合せ先，連絡先：

北海道大学触媒化学研究センター

札幌市北区北二十一条西10丁目

朝倉清高 TEL and Fax：011-706-9113

E-mail：askr@cat.hokudai.ac.jp

URL：http://www.ims.ac.jp/indexj.html

## ■第43回 X 線分析研究懇談会

主催：日本分析化学会 X 線分析研究懇談会

共催：日本化学会

日時：2007年9月17日(月)～19日(水)

会場：京都大学百周年時計台記念館 2F（17日）

京都大学工学部物理工学棟 3F（18日・19日）

### 参加登録料：

一般予約4,500円，一般当日6,000円，学生2,000円，

ミキサー1,000円

講演申込締切：6月20日

講演要旨締切：8月20日

### ホテル予約締切：

6月30日（国際会議で確保したホテルの詳細は下記 web 参照）

### プロシーディングス：

「X 線分析の進歩」誌（和文）と Spectrochimica Acta Part B  
誌（英文）を予定しています（原稿締切10月1日）

### 見学：

9月20日(木)は立命館シンクロトロン見学等を予定しています。

### 学生に対する参加補助：

補助の公募詳細はホームページで6月30日ごろ公開します。

### 講演申込み方法：

研究懇談会の下記 web ページにアクセスし，abstract 見本を  
参考に必要事項を記入した abstract を E-mail で送信してくだ

さい。やむを得ない場合は FAX も受け付けます。

<http://www.nims.go.jp/xray/xbun> または

<http://www.process.mtl.kyoto-u.ac.jp/>

**Abstract 送付先**（原則として **E-mail** 添付）：

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院工学研究科材料工学専攻

河合研究室気付 ICXOM 国際会議実行委員会事務局

[TEL : 075-753-5442, FAX : 075-753-5436,

E-mail : [jun.kawai@materials.mbox.media.kyoto-u.ac.jp](mailto:jun.kawai@materials.mbox.media.kyoto-u.ac.jp) メール  
の件名に ICXOM 発表申込とお書きください]

**問合せ先**：

河合 潤 (TEL : 075-753-5442, FAX : 075-753-5436,

E-mail : [jun.kawai@materials.mbox.media.kyoto-u.ac.jp](mailto:jun.kawai@materials.mbox.media.kyoto-u.ac.jp))

または (日本分析化学会, TEL : 03-3490-3351,

FAX : 03-3490-3572, E-mail : [hm\\_tanaka@jsac.or.jp](mailto:hm_tanaka@jsac.or.jp))

### ● 会誌オンラインご案内 ●

編集委員長 櫻井吉晴

オンライン会誌は <http://www.jssrr.jp/journal/> でご覧いただけます。

今回のユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr203

Password : Md7fht9r

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

まだ試運転段階ですので、皆様から、バグの指摘、コメントなどをいただければ幸いです。ご連絡は櫻井 (sakurai@spring8.or.jp) までお願いします。また、当然のことですが、会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。